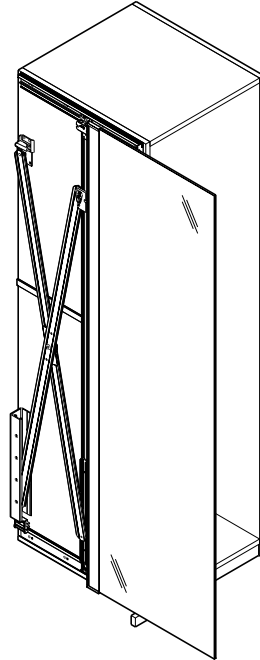




コンセプト 50(ガラス扉用) 取付説明書

このたびは、コンセプト 50(ガラス扉用)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は、屋内引戸用として設計されたものです。このほかの目的には使用しないでください。
作業を行う前に、必ずこの取付説明書をお読みください。



⚠ 警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。
本書の説明、注意事項をお守りください。

本書について

本取付説明書は、一つの現場に一か所のコンセプト 50(ガラス扉用)を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。作業される方におかれましては、専門家としてのノウハウをお持ちのことと考えておりますので、この取付説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて製作してください。

その場合においても、事前にこの取付説明書に一度は必ず目を通してくださるようお願いいたします。

また、本製品には外国語版取付説明書も付属されていますが、本書をお読みいただければ、外国語版取付説明書をお読みいただかなくても良いように構成しております。

免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、当社の影響の及ばないいくつかの要素から成り立っています。

したがって当社では、これらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責は負えませんので、ご容赦させていただきます。ご理解のうえ、ご了承いただきますようお願いいたします。

1. 製品の仕様

	コンセプタ 50(ガラス用)
扉質量	50kg
扉幅	300～900mm
扉高さ	1900～2850mm
扉厚	8mm
扉の最大引込量	818mm

■留意点

- ・製品は左吊元、右吊元共用ですが、本書は左吊元仕様で説明します。
- ・扉が締まった際の戸当り、キャッチ等はお客様にてご用意ください。
- ・中帆立は、メンテナンスできるように取り外し可能な構造にしてください。
- ・ガラスは強化ガラスをお使いください。
タイプ 1、タイプ 4 は、材質、仕様によっては、吊元部裏側の縦枠がガラス越しに見えます (P.11 参照)。

 **注意:** 製品が支障なく動くためには、機構部取付面や扉の反り、ねじれが ±2mm 以内であること。

2. 作業前に確認いただくこと

内容物と数量の確認を行なってください。

現場に取り付けるコンセプタ金物の扉の枚数を確認し、内容物の確認を行ってください。

製品が届いたらすぐに梱包を解き、内容物の数と状態の確認を行ってください。不足や不備がある場合、使用せず直ちに販売店様または弊社までご連絡ください。

3. 必要な工具

- ・十字ねじ回し 2 番
- ・六角棒スパナ (ボールポイント式) 呼び 2.5
- ・六角棒スパナ (ボールポイント式) 呼び 3 (製品付属工具で代用可)
- ・六角棒スパナ 呼び 5
- ・アルミ材を切る金のか
- ・カッター
- ・スパナ 13
- ・ドリル刃 $\phi 12$

4. お願い

1. コンセプタに仕様以上の負荷をかけないでください。本製品がユーザ様の期待する性能を発揮させるため、および使用中の事故を防ぐための重要なお願いです。
2. 本製品を建築物等に取り付ける場合、付属のねじまたは指定の呼びのねじをお使いください。
3. 製品の性能向上等の改良により、製品とこの取付説明書の内容が食い違ってしまうことがないよう努力しております。しかし、万が一これらに食い違いがありましたら、裏表紙のお問い合わせ先にご連絡ください。
4. 使用する木部品は、十分に乾燥させ、強度を持った材料をお使いください。
不適切な木部品を使用すると、経年変化で反りなど変形して不具合を生じることがあります。

H A W A - コンセプタ50 (ガラス扉用)

■部品セット22313 (①～②②のセット)

No.	形状	部品名	寸法	品番	数量
①		連動バー	2850mm	22057	1
②		フロントガイドレール	420mm	22317	1
③		リアガイドレール	420mm	21850	1
④		クロスアーム	1480mm	22594	1
⑤		リアブラケット		22282	1
⑥		ガラス用ヒンジ		22307	5
⑦		ガイドレール (下用)	891mm	23199	1
⑧		ブラシシールベース	2850 mm	21971	1
⑨		ブラシシールクランプ 6ヶセット		22289	1
⑩		ブラシシール	2850 mm	22810	1
⑪		ガイドローラー		22267	1
⑫		ストッパーA		22254	1
⑬		ストッパーB		22255	1
⑭		エンドダンパーとキャップ		22302	1
⑮		皿タッピンねじ 4.5×20		22451	25

No.	形状	部品名	寸法	品番	数量
⑯		扉縦枠A	2850mm	22051	1
⑰		ヘキサロビュラレンチ T20		22627	1
⑱		六角棒スパナ (ポールポイント式) 呼び3		13164	1
⑲		ガラス固定セット		22600	1
⑳		ガイドバー	891mm	22861	1
㉑		ガイドレール (上用)	891mm	23192	1
㉒		ガイドローラー		22270	1

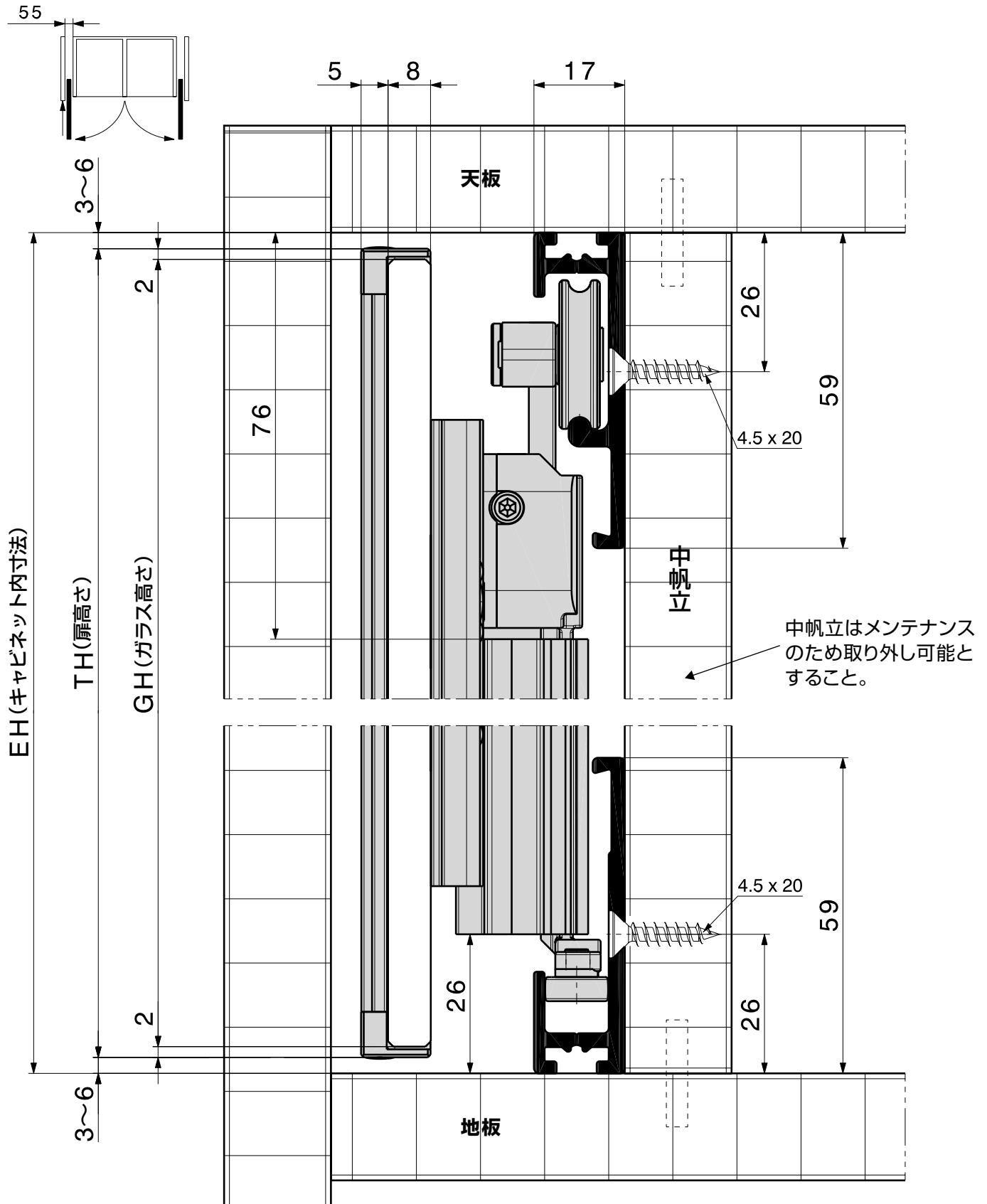
オプション		連結ブラケット	650mm	(23221)
			900mm	(23222)
		化粧カバー 3ヶセット		(22608)
		カバースクリーン、プロファイル、扉縦枠B	2850 mm	(22611)
		プロファイル、扉縦枠C	2850 mm	(22614)
		ハンドル (t8ガラスとt20木扉用)	400 mm	(22692)
			400 mm	(22688)
			1260 mm	(22689)
			2850 mm	(22690)

・品番に () がついているのはオプション部品です。
 ・品番に () *がついているのはオプション部品の詳細部品です (部品内訳はP.16参照)。

※1: ⑤リアブラケットは左吊元用に組み立ててあります。右吊元用にはダンパー部を反対側へ組み替えてください。(本文中の説明を参照願います。)

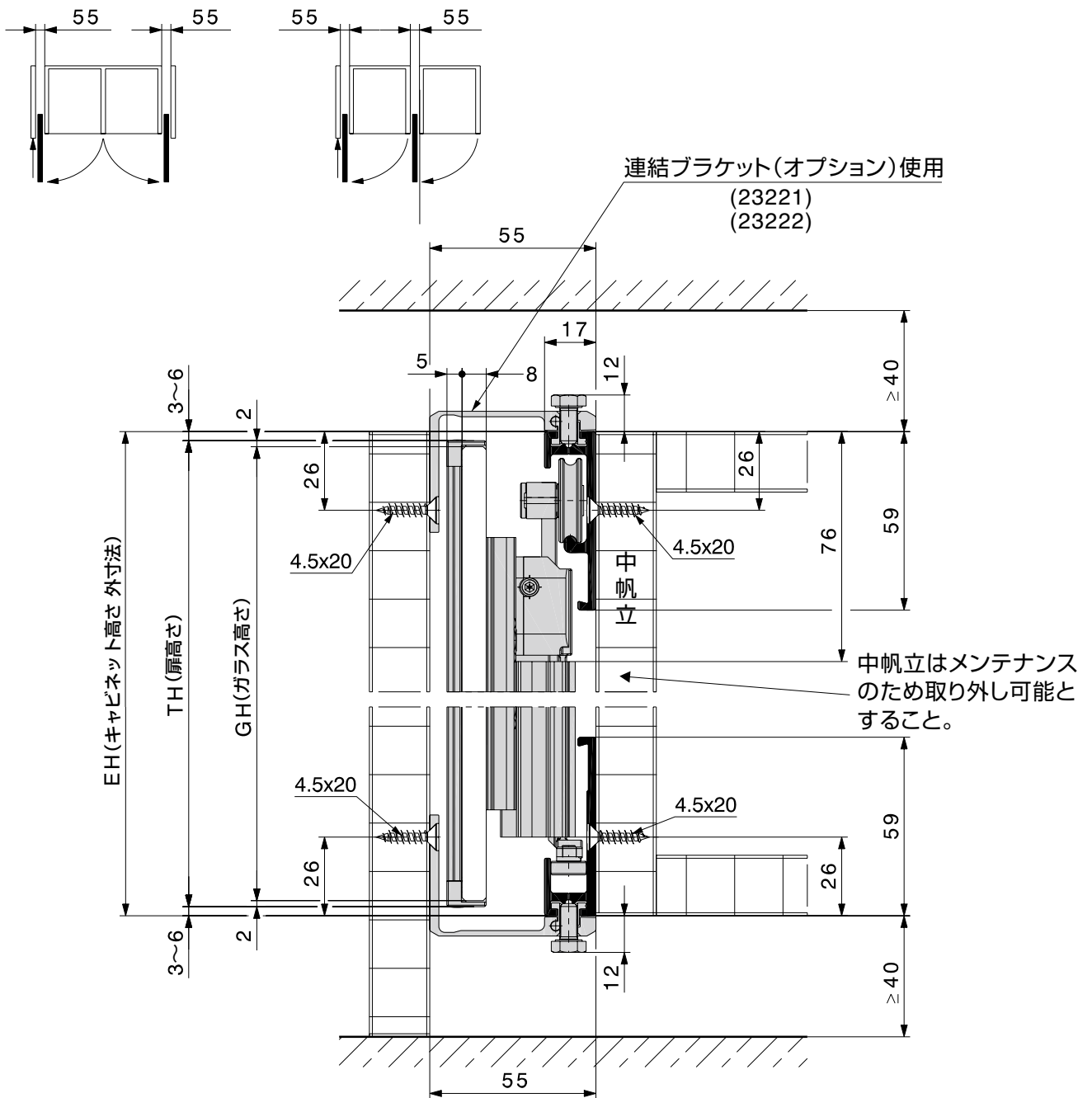
※2: ⑭エンドダンパーは左吊元用に組み立ててあります。右吊元用にはダンパーを反対側へ組み替えてください。(本文中の説明を参照願います。)

キャビネット内の扉を収納する仕様 インセット扉 (タイプ2～タイプ4 オプション取付例)

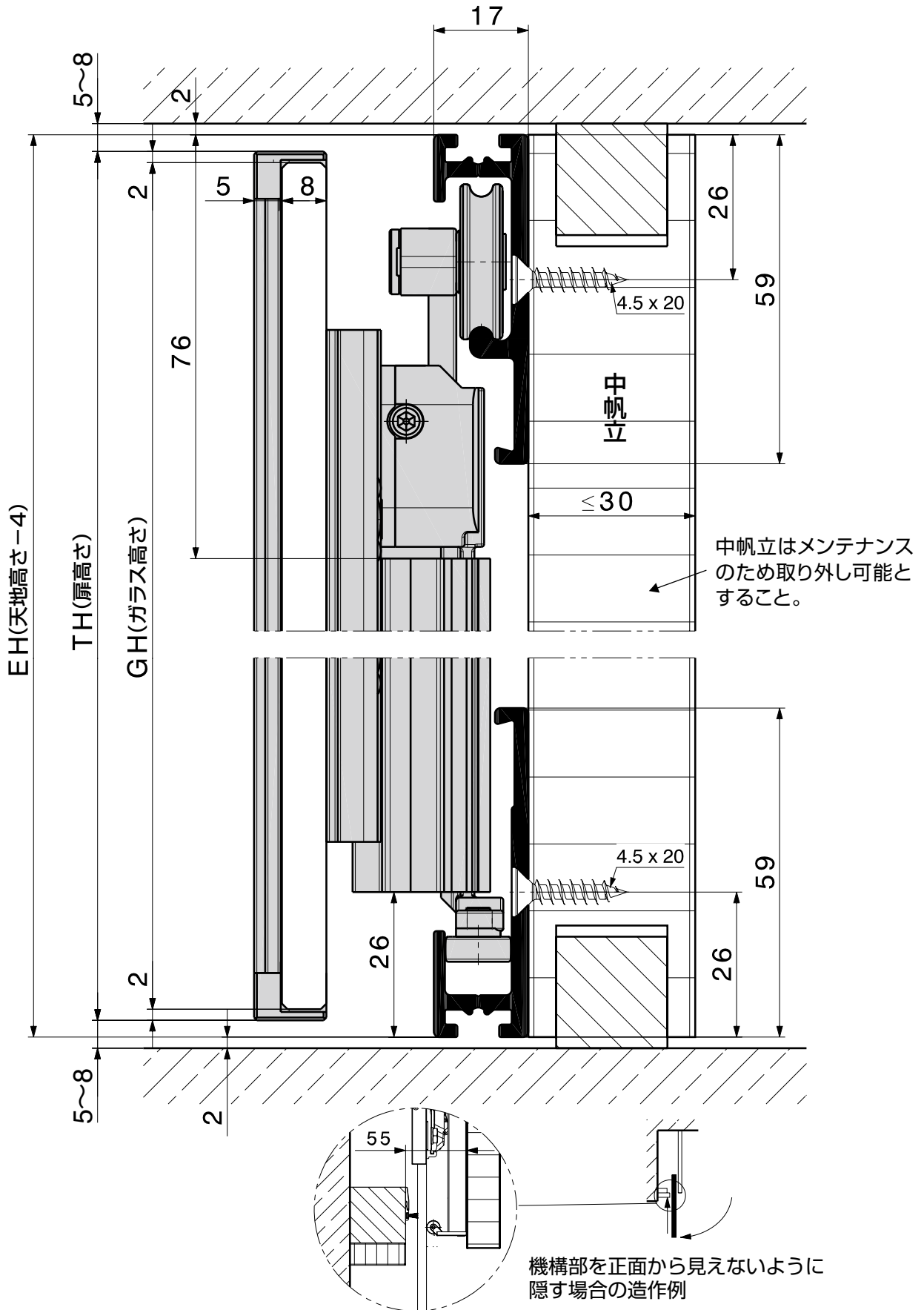


H A W A - コンセプタ50 (ガラス扉用)

側面外側をキャビネットとは別の側板で覆う仕様
かぶせ扉 (タイプ2~タイプ4 オプション取付例)



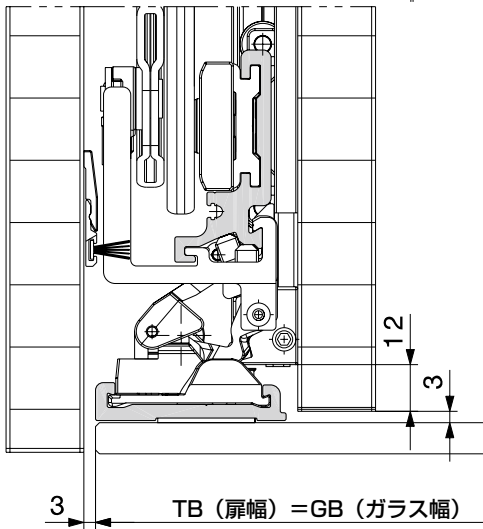
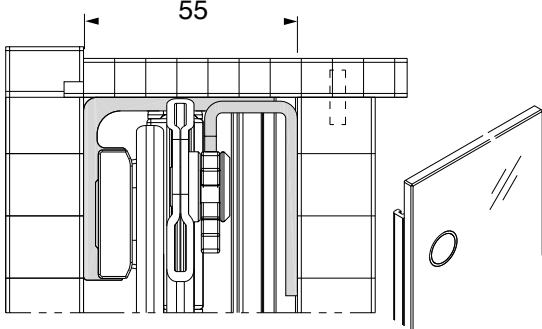
建築空間に直接取り付ける仕様



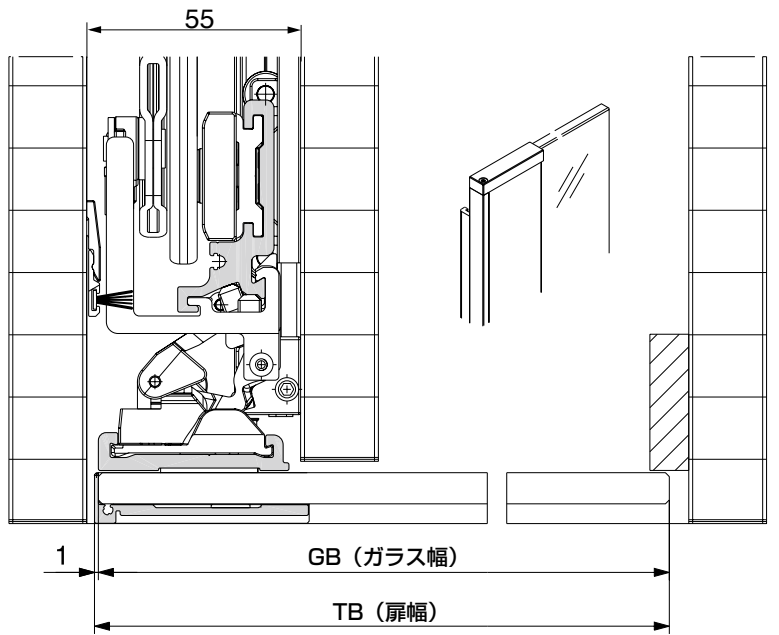
扉タイプのバリエーション

扉は基本パーツセットとオプションの組み合わせにより、仕様は4通りあります。

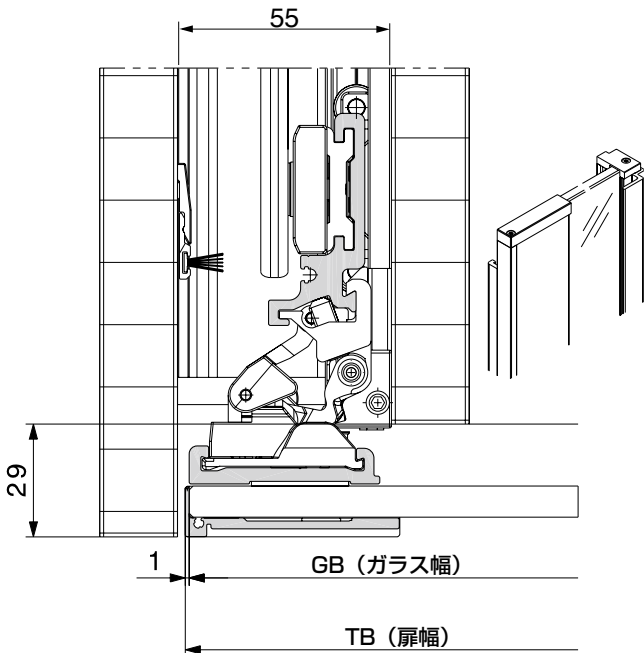
タイプ1 枠なし



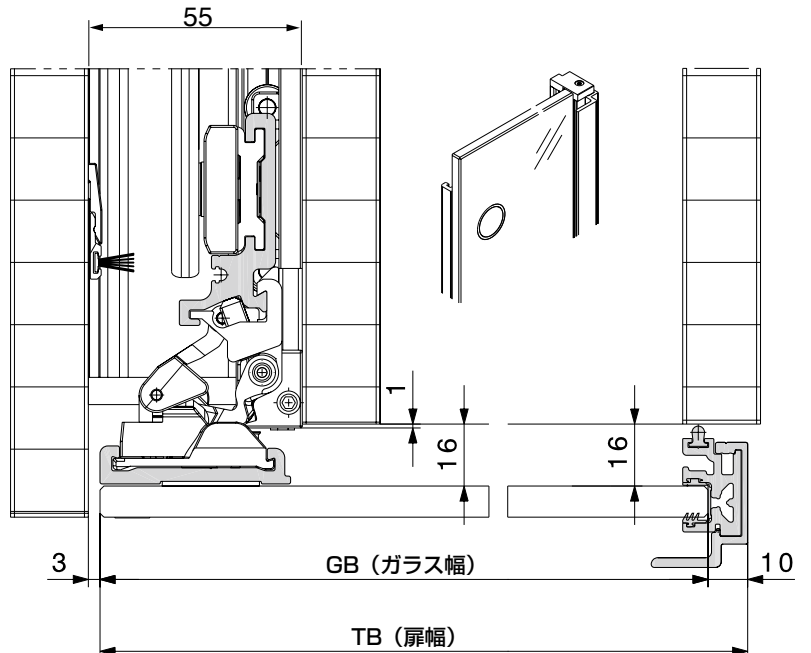
タイプ2 吊元に縦枠付き



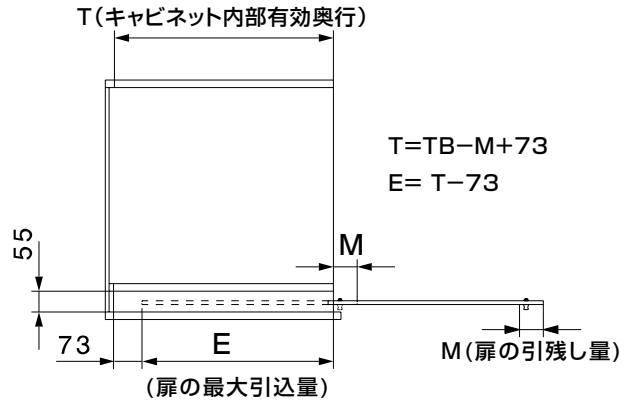
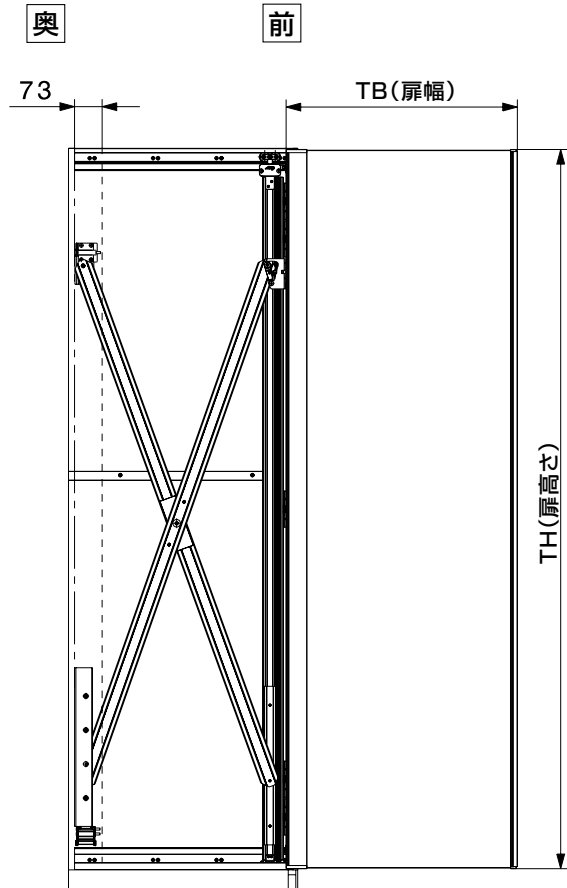
タイプ3 吊元と戸先に縦枠付き (戸先はタイプ4と同じ)



タイプ4 戸先に縦枠付き



扉およびキャビネット各寸法の関係、条件



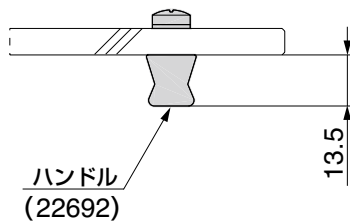
(単位mm)

	T	TH	E
コンセプタ50	891 以下	1900~2850	818 以下

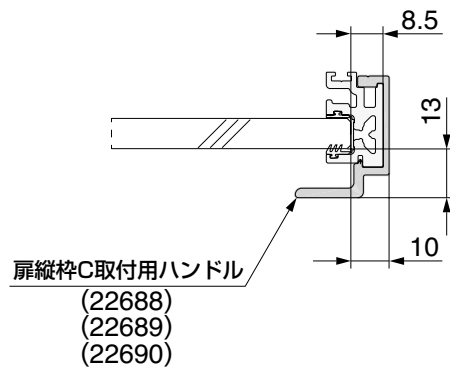
キャビネット内部奥行がTを超えている分には取り付けは可能ですが、扉の最大引込量Eは上記の通りとなります。逆にTより小さい場合、扉の最大引込量Eもその分小さくなります。

扉用ハンドル (オプション)

ガラス用ハンドル (22692)



扉縦枠C取付用ハンドル (22688, 22689, 22690)



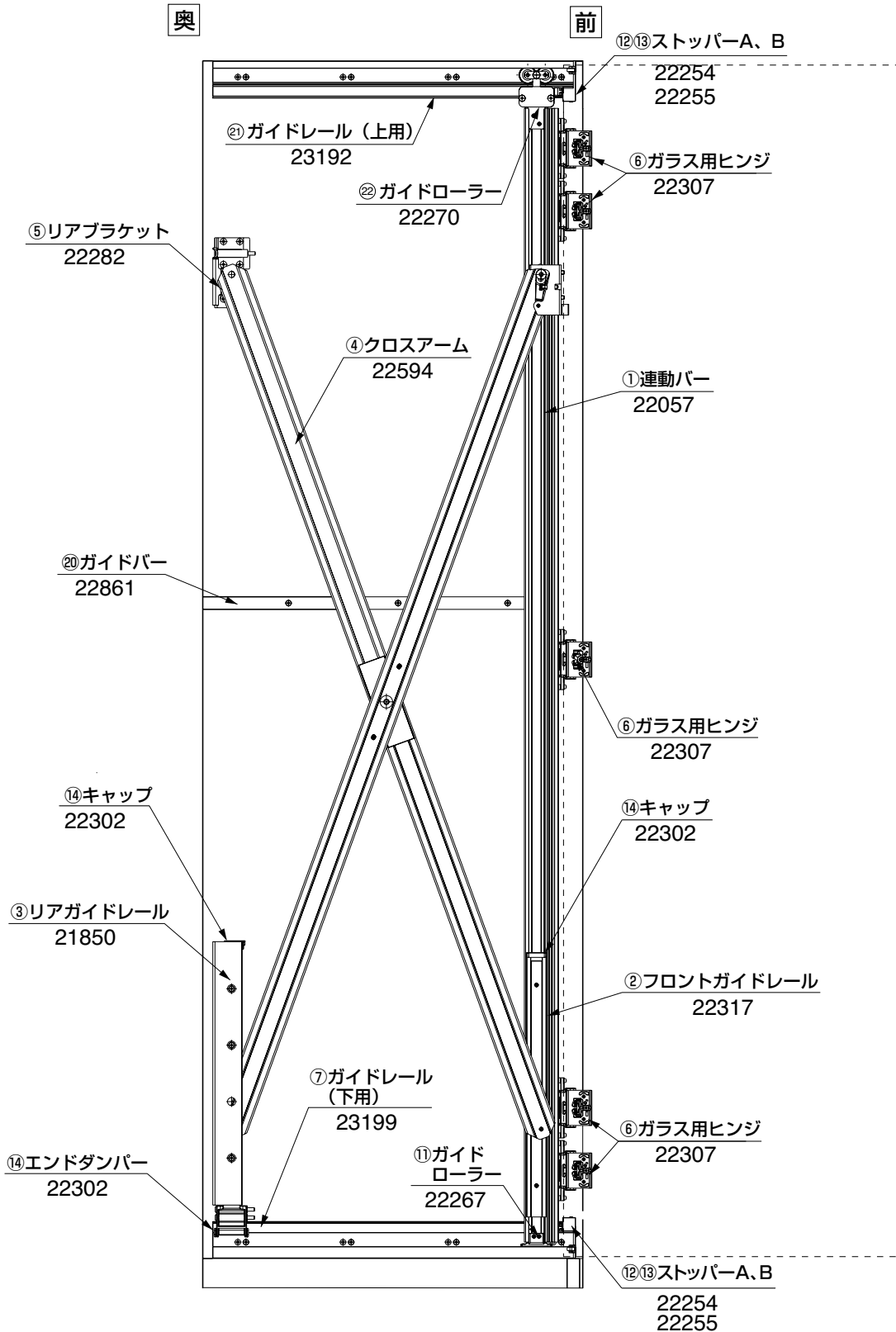
扉の大きさ、質量の目安

同じ大きさでも材質、構造により質量が異なりますので、おおよその目安としてください。
 表中50と表記されている範囲にしてください。
 それ以上、大きい扉にしたい場合は表中の数字 (kg) の質量以下になるようにしてください。

コンセプタ50 (ガラス扉用) → 扉幅 (単位kg)

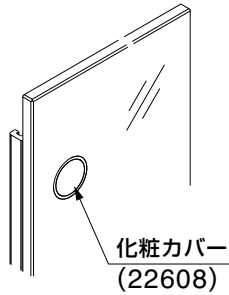
↓ 扉高さ	TB扉幅 (mm)		→ 扉幅												
	TH扉高さ (mm)		300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900
2850			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2800			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2750			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2700			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2650			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2600			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2550			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2500			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2450			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2400			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
2350			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49
2300			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	48
2250			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	47
2200			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	48	46
2150			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	47	44
2100			50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49	46	43
2050			50	50	50	50	50	50	50	50	50	47	44	44	42
2000			50	50	50	50	50	50	50	50	49	46	43	41	
1950			50	50	50	50	50	50	50	50	47	44	42	39	
1900			50	50	50	50	50	50	50	49	46	43	40	38	

部品の取付位置

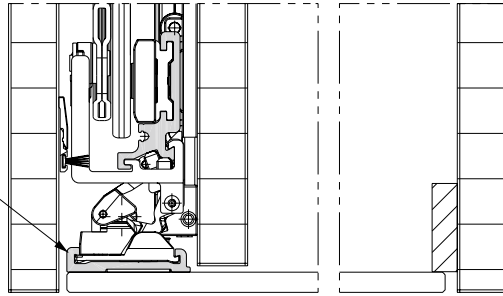


扉タイプ別部品取付場所

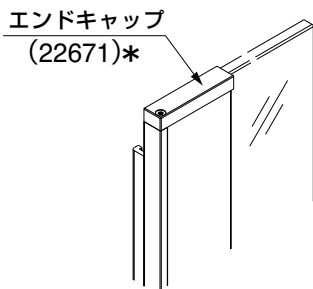
タイプ1 枠なし



⑩ 扉縦枠A
22051



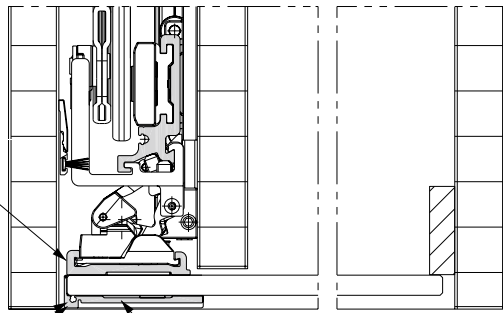
タイプ2 吊元に縦枠付



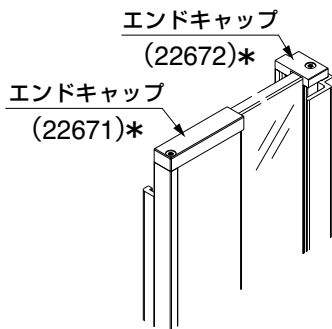
⑩ 扉縦枠A
22051

扉縦枠B
(22434)*

エンドキャップ
(22671)*



タイプ3 吊元と戸先に縦枠付



⑩ 扉縦枠A
22051

扉縦枠B
(22434)*

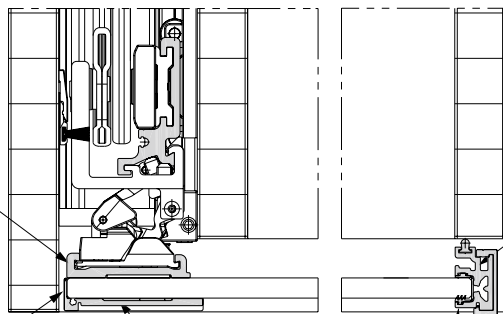
エンドキャップ
(22671)*

扉縦枠C
(22396)*

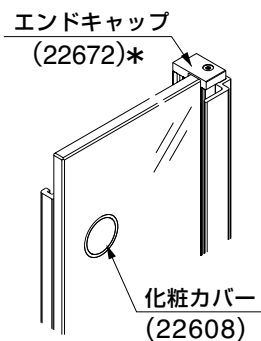
ハンドル
(22688)

パッキン
(22680)*

(22689)
(22690)



タイプ4 戸先に縦枠付

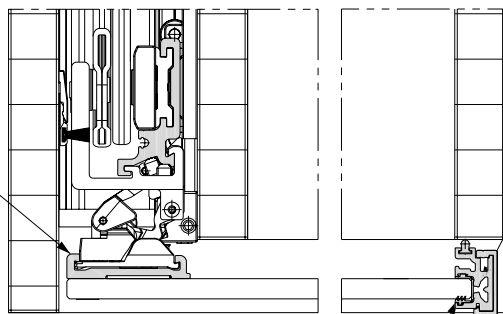


⑩ 扉縦枠A
22051

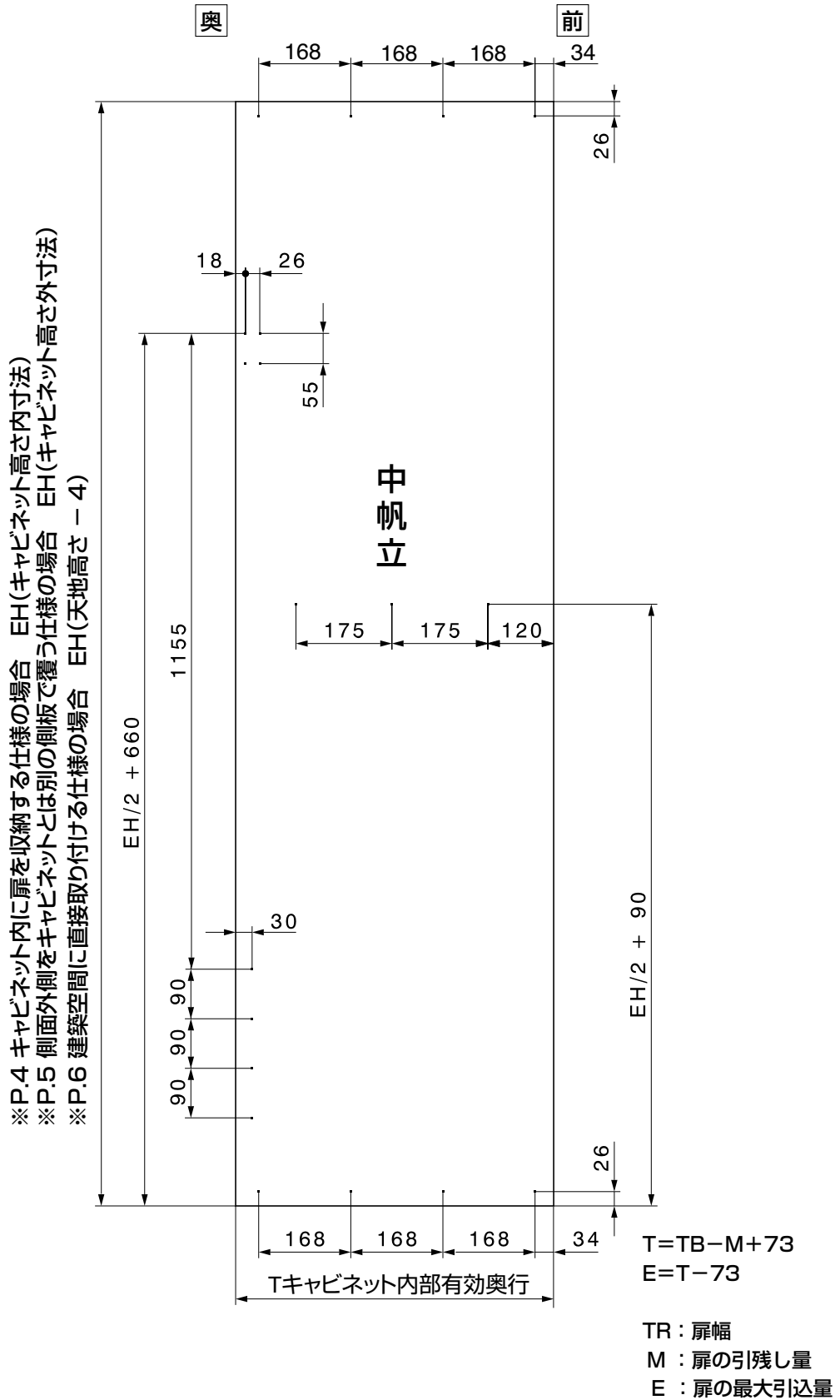
扉縦枠C
(22396)*

パッキン
(22680)*

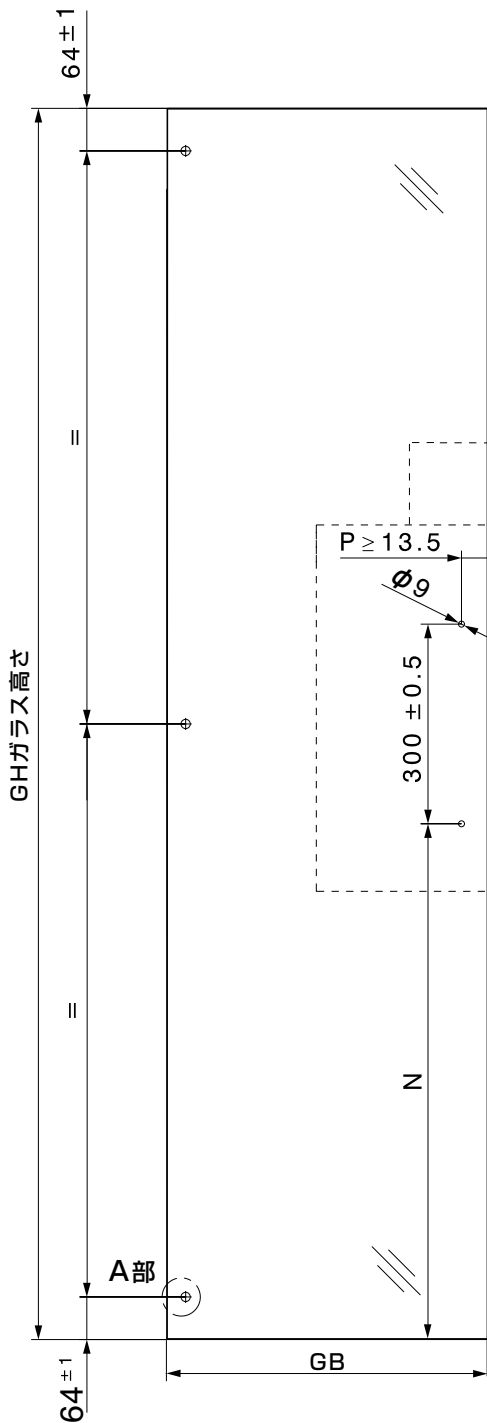
ハンドル
(22688)
(22689)
(22690)



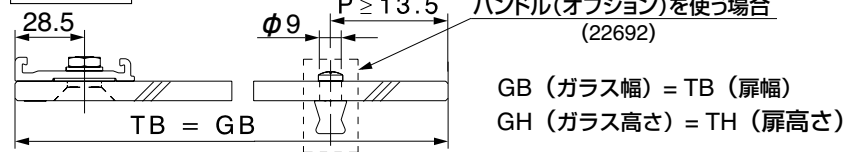
中帆立の部品取付穴位置



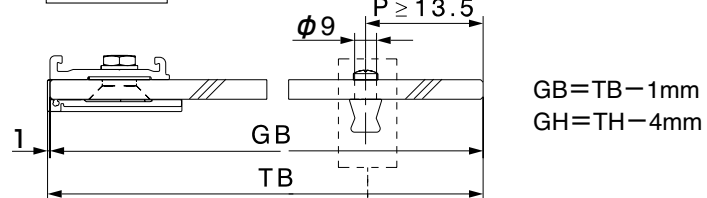
ガラス加工詳細図



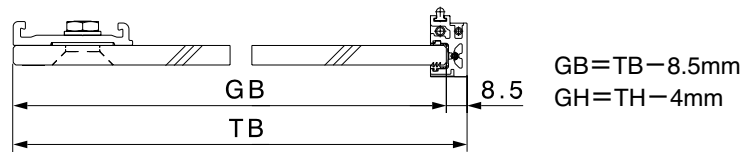
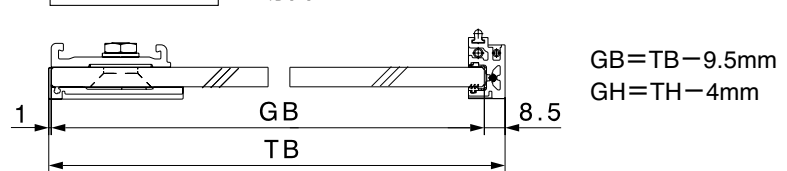
タイプ1の場合



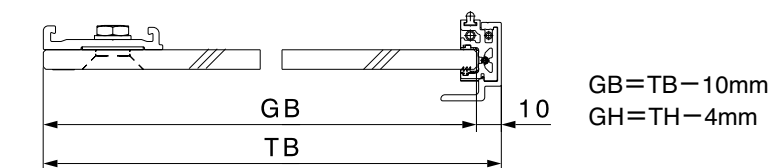
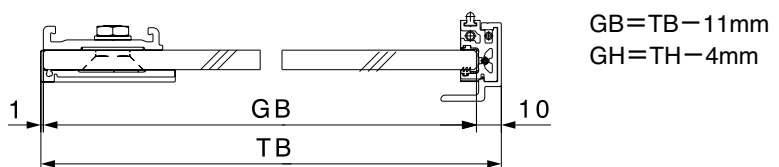
タイプ2の場合



タイプ3と4の場合 (ハンドルなし仕様)



タイプ3と4の場合 (ハンドルあり仕様)



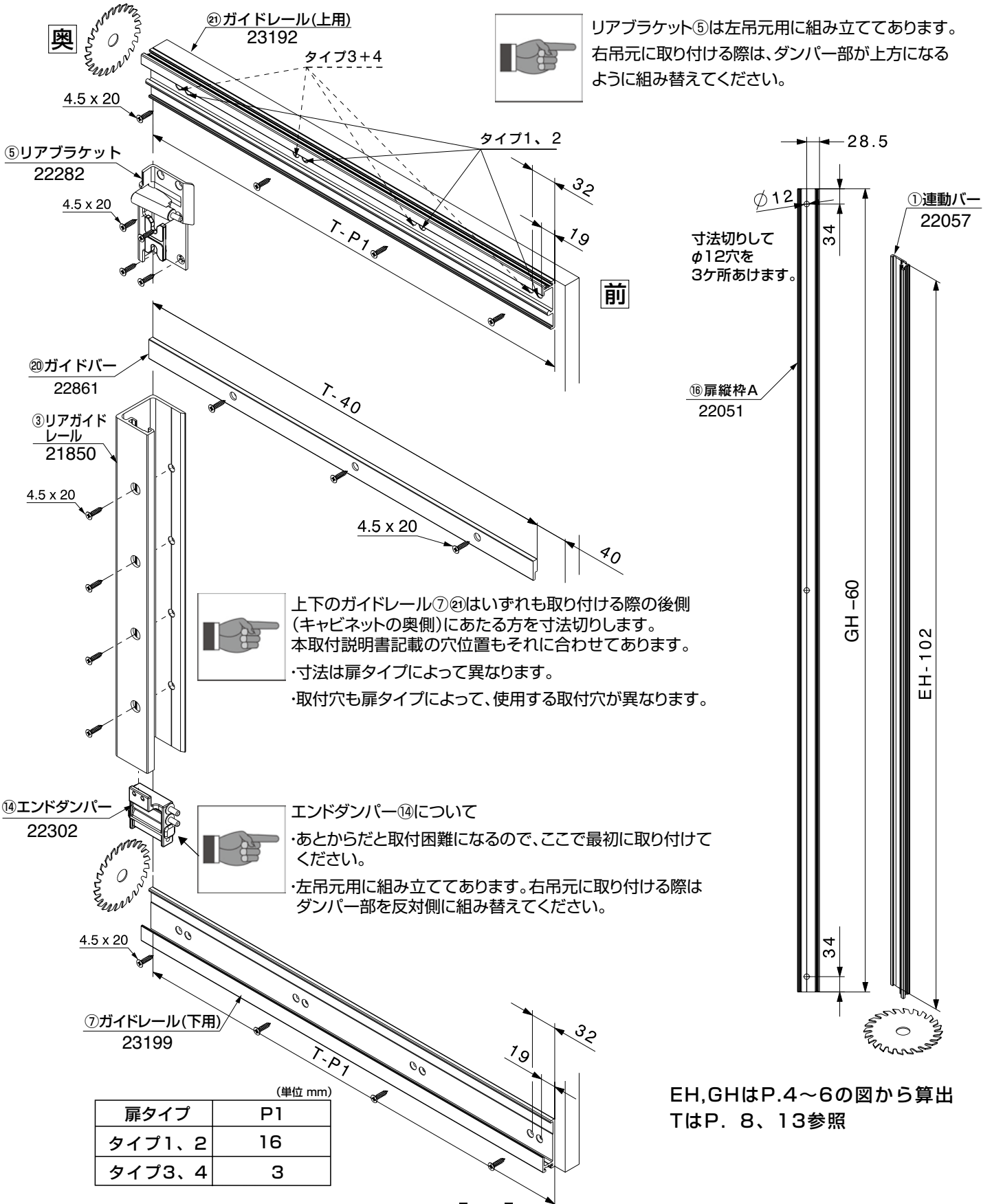
ガラス加工寸法 (ここに記録しておいてください)

使用ガラス	N (mm)	P (mm)	GH (mm)	GB (mm)
強化ガラス8 mm				

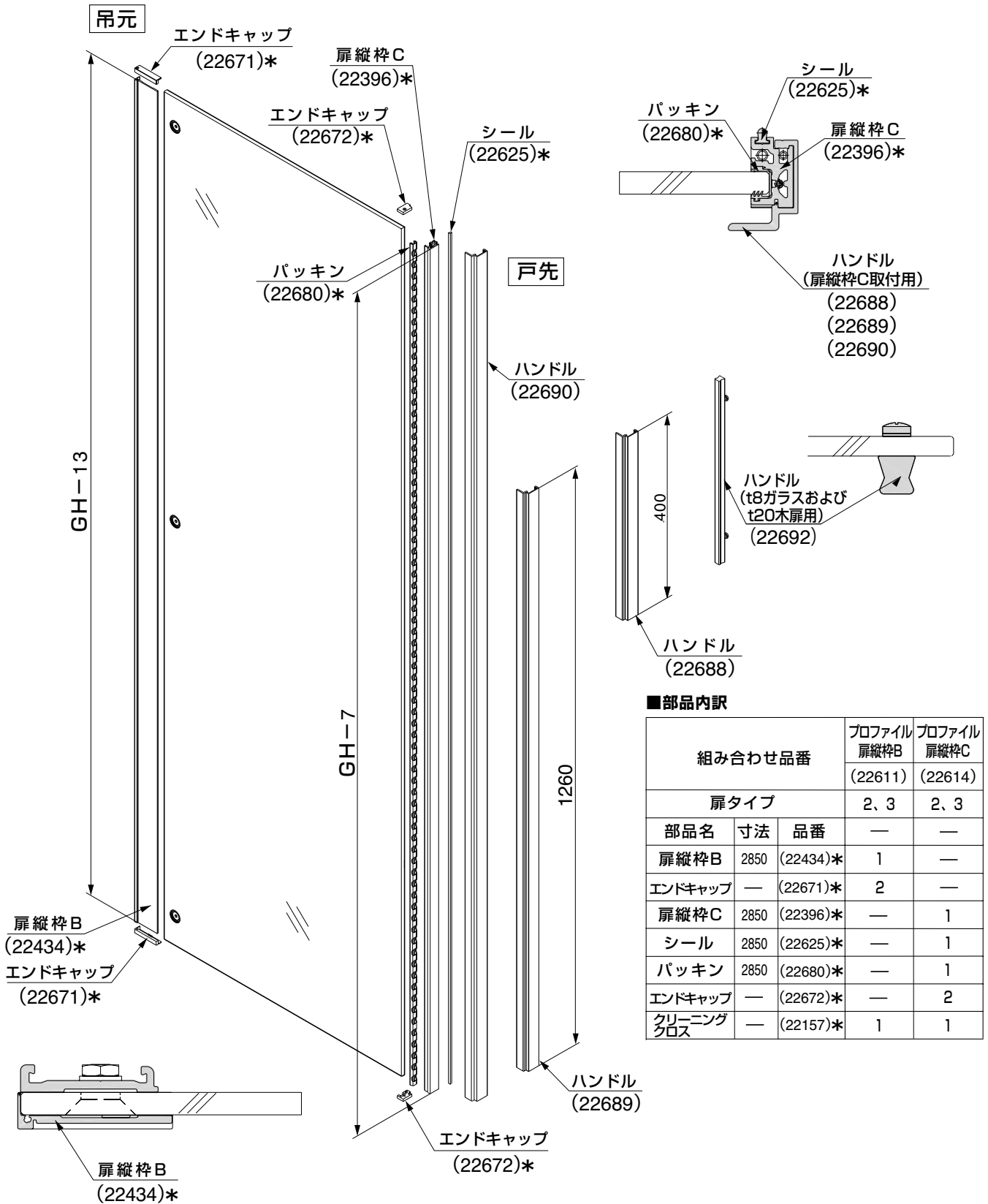
TH (扉高さ) GH (ガラス高さ) はP.4~6の図から算出します。
TB (扉幅) GB (ガラス幅) は P.7の図から算出します。
P, N (ハンドル用穴までの距離) はお客様で決めていただきます。

連動バーおよび上下ガイドレールの加工と組み立て、取り付け

連動バー①、上下ガイドレール⑦⑲を指定に従い、寸法切りします。
付属ねじで中帆立に取り付けます。

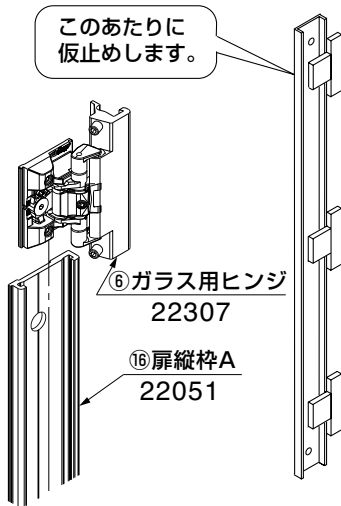


扉への部品取付位置および縦枠の加工

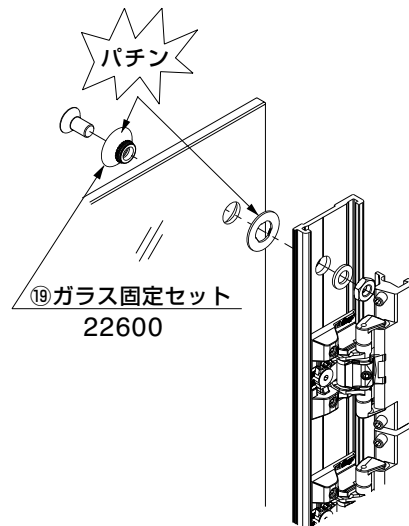


ガラス扉への部品の取り付け

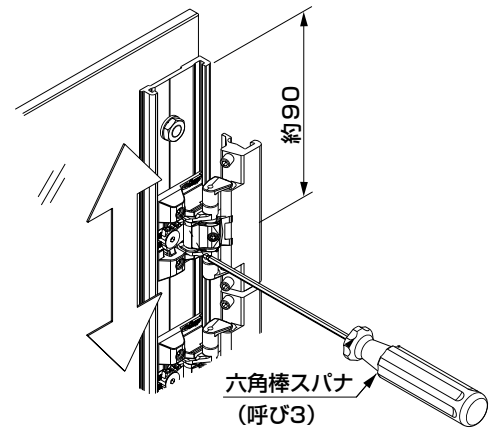
1 ガラス用ヒンジ⑥を3個、扉縦枠A⑯に通し、仮止めします。



2 組み立てた扉縦枠A⑯をガラス固定セット⑱でガラスに固定します。



3 ガラス用ヒンジ⑥を固定します。

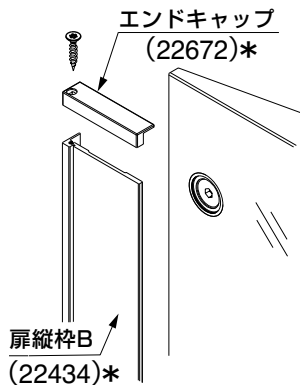


タイプ別部品の取り付け

縦枠の取り付け

タイプ2 | タイプ3

〈1〉 扉縦枠Bの上下にエンドキャップをねじ止めします。



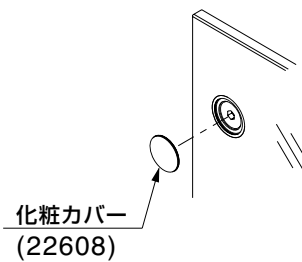
〈2〉 縦枠の裏面テープの剥離紙をはがし、縦枠をガラスに接着します。



化粧カバーの取り付け

タイプ1 | タイプ4

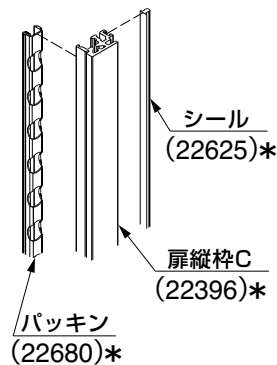
裏面テープの剥離紙をはがし、接着します。



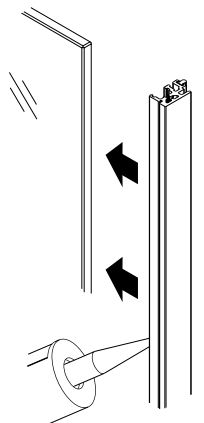
扉縦枠Cの取り付け

タイプ3 | タイプ4

〈3〉 各部品を組み立てます。



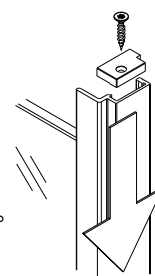
〈4〉 シリコン充填剤あるいは接着剤でガラス戸先端部に接着します。



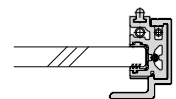
ハンドル (扉縦枠C取付用) の取り付け

タイプ3 | タイプ4

〈5〉 ハンドルを扉縦枠Cに差し込みます。

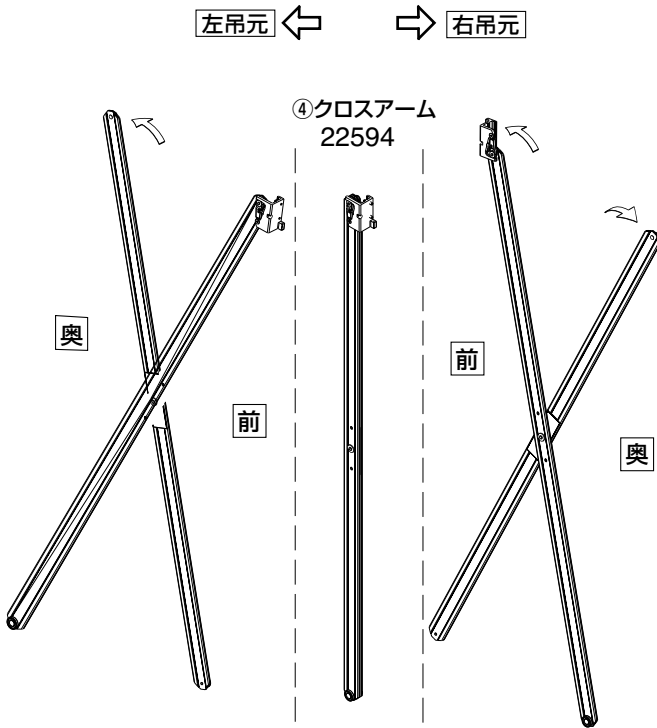


〈6〉 扉縦枠Cの上下にエンドキャップをねじ止めします。

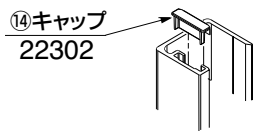


クロスアームと連動バーの組み立ておよび取り付け

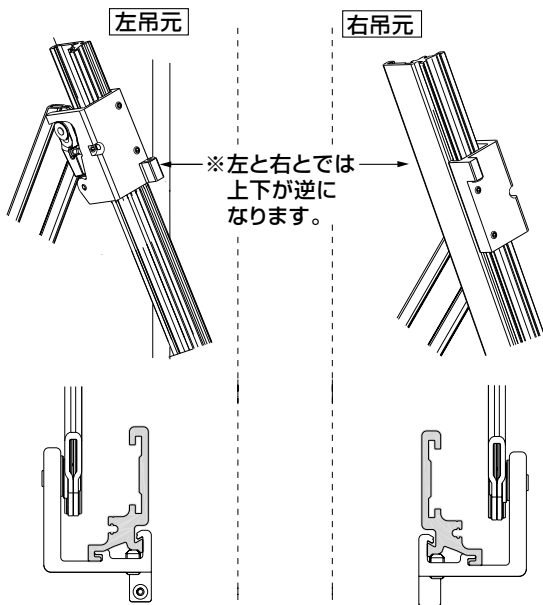
クロスアーム④は左右共用ですが、左吊元か右吊元によって使う向きが逆になります。



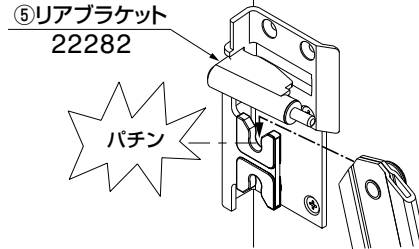
3 キャップ⑭を差し込みます。



4 クロスアーム④前上部に連動バー①を通します。

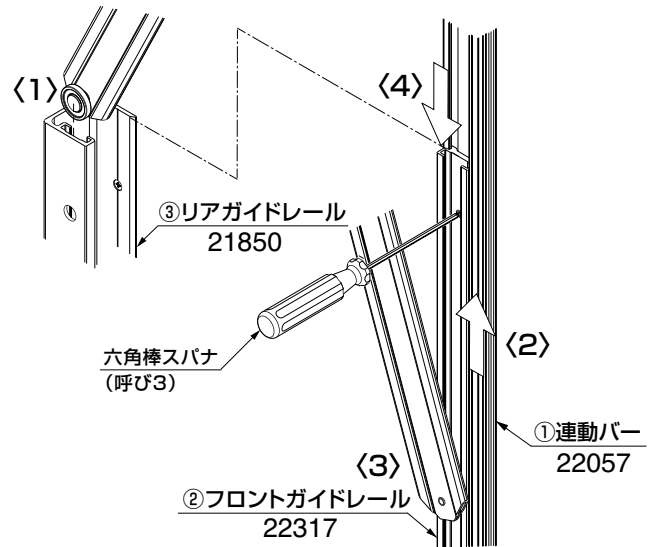


1 クロスアーム④後上部をリアブラケット⑤に接続します。パチンとしっかりはめ込みます。



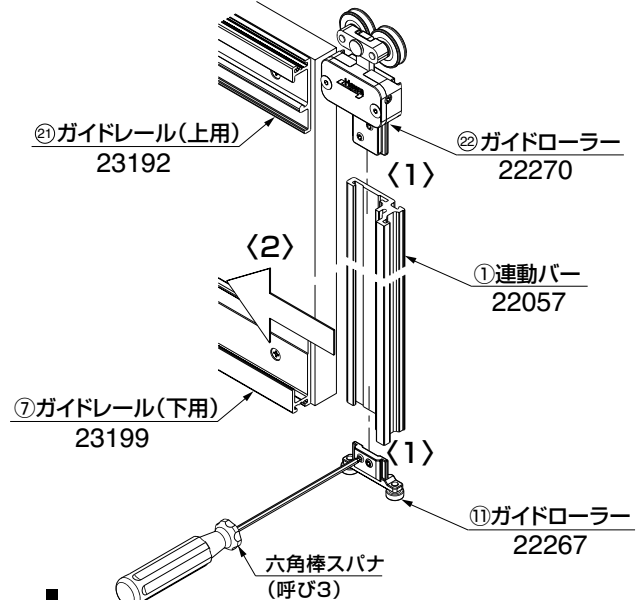
2

- <1> クロスアーム④後下部をリアガイドレール③に挿入します。
- <2> 連動バー①内のフロントガイドレール②を一度、上の方へずらします。
- <3> クロスアーム④前下部をフロントガイドレール②に挿入します。
- <4> フロントガイドレール②をリアガイドレール③と同じ高さに揃え、固定します。



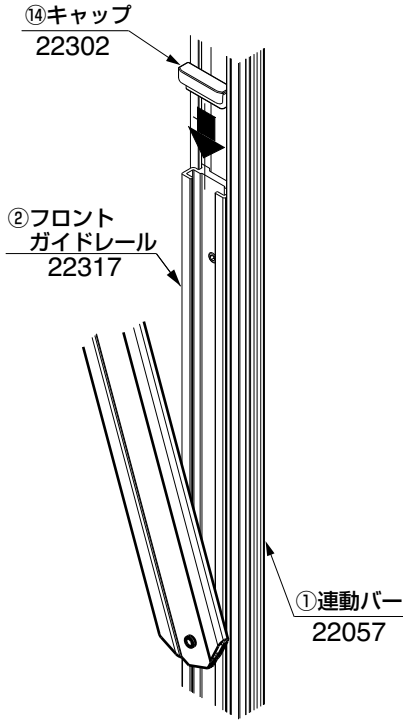
5

- <1> 上下のガイドローラー①②を連動バー①に取り付けます。
- <2> 動バー①を上下のガイドレール⑦②に挿入します。

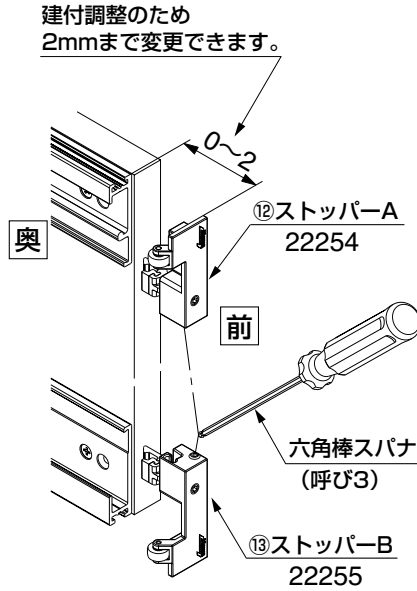


クロスアーム、アップライト金物と扉の取り付け

6 フロントガイドレール②にキャップ⑭を取り付けます。

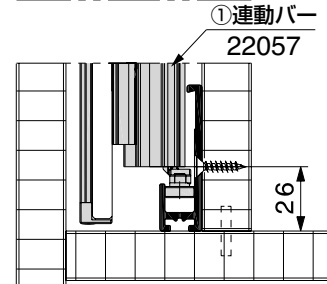
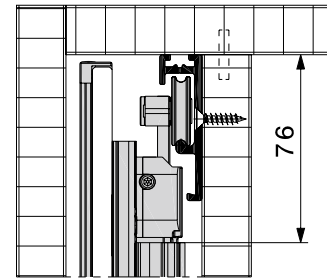
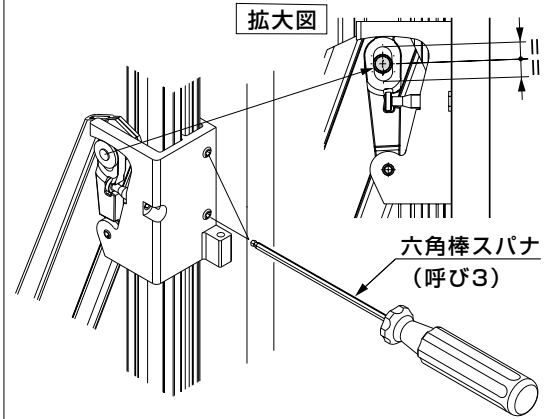


7 ストッパーA,B⑫⑬を取り付けます。

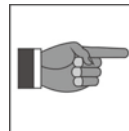
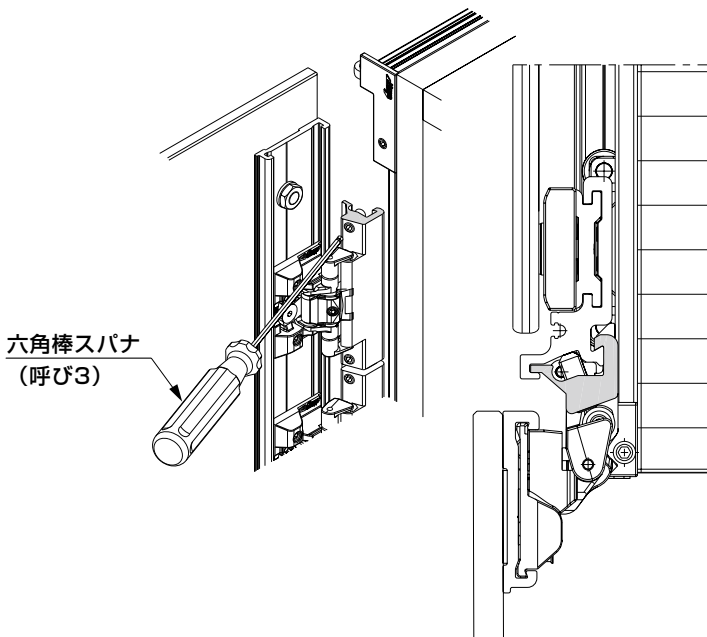


図は左吊元の場合です。
右吊元の場合は上下が逆になります。

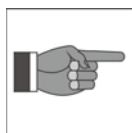
8 調整部分を拡大図に示す位置にして、クロスアーム④前上部を連動バー①に固定します。



9 ガラス扉に付けたヒンジ⑥を連動バー①に取り付けます。



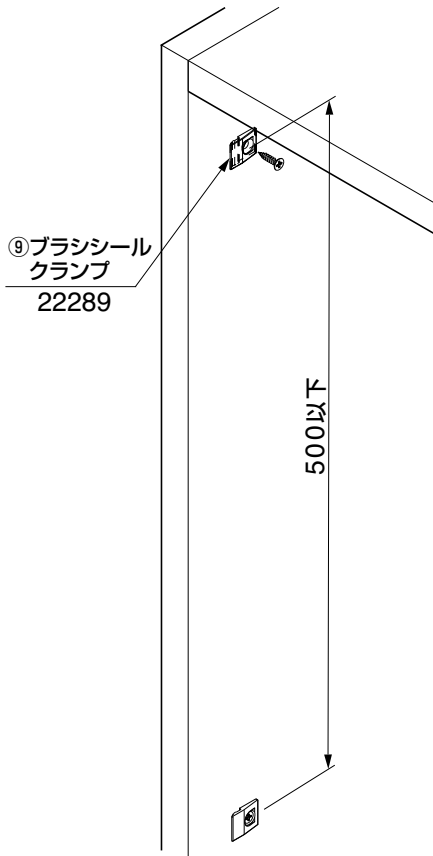
連動バー①は上図に示した高さにします。
上げすぎて上のガイドレール②に干渉しない
よう注意して、ねじを締めてください。



扉の高さをきちんと調整したうえで、
ねじを締めてください。

部品を組み込んだ中帆立とブラシシールの取り付け

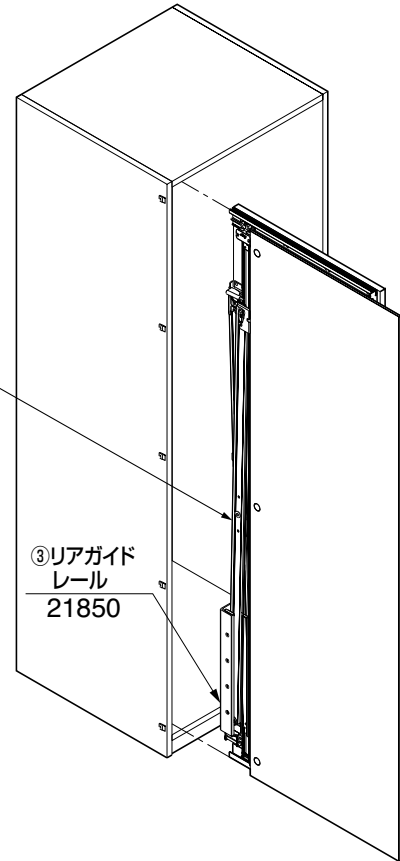
- 1** ブラシシールクランプ⑨を500mm以下の間隔で(ただし、リアガイドレール③を差し込む場所<右図参照>を避けて)、側板内側に取り付けます(部品は前後があるので注意)。奥行位置は下図4を参照ください。



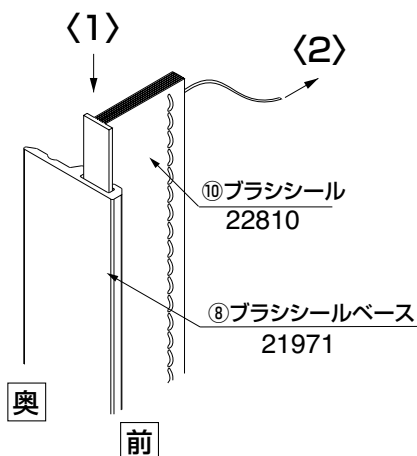
- 2** 組み立てた扉、金物、中帆立をキャビネットに挿入、固定します(メンテナンスに備えて、中帆立は取り外せるようにしておきます)。

⚠ 注意

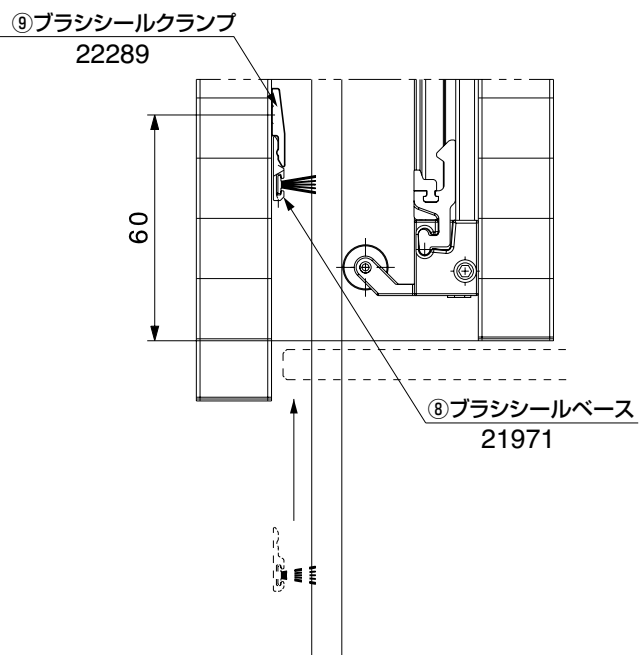
指はさみに注意。
可動部分に触れないこと。



- 3** <1> ブラシシールベース⑧にブラシシール⑩を通します。
<2> 縦じひもを外します。

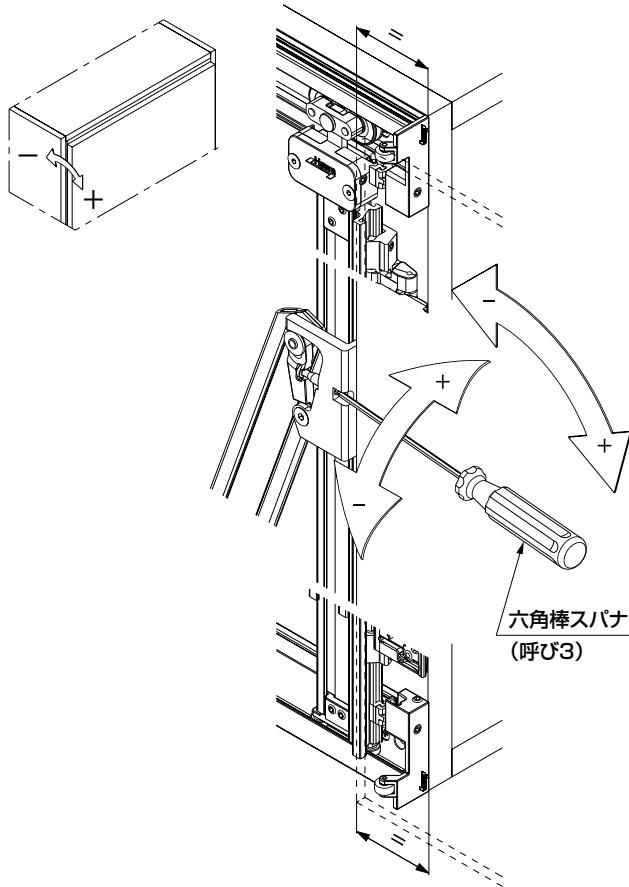


- 4** 組み立てたブラシシールベース⑧をブラシシールクランプ⑨にはめ込みます。



扉その他の建て付けの調整

1 前後傾きの調整



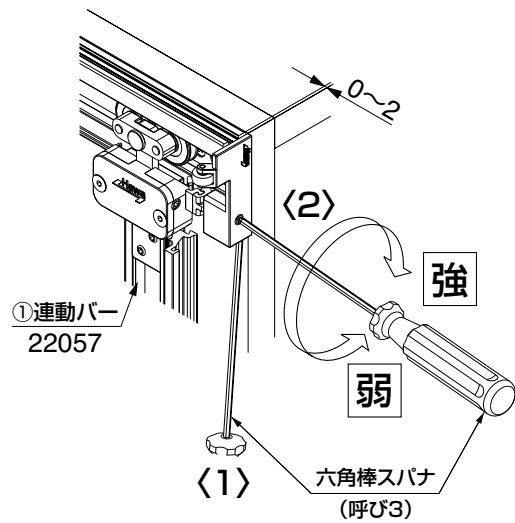
2 キャッチの調整

扉を引き出した際、連動バー①が上下同時にキャッチするように調整します。

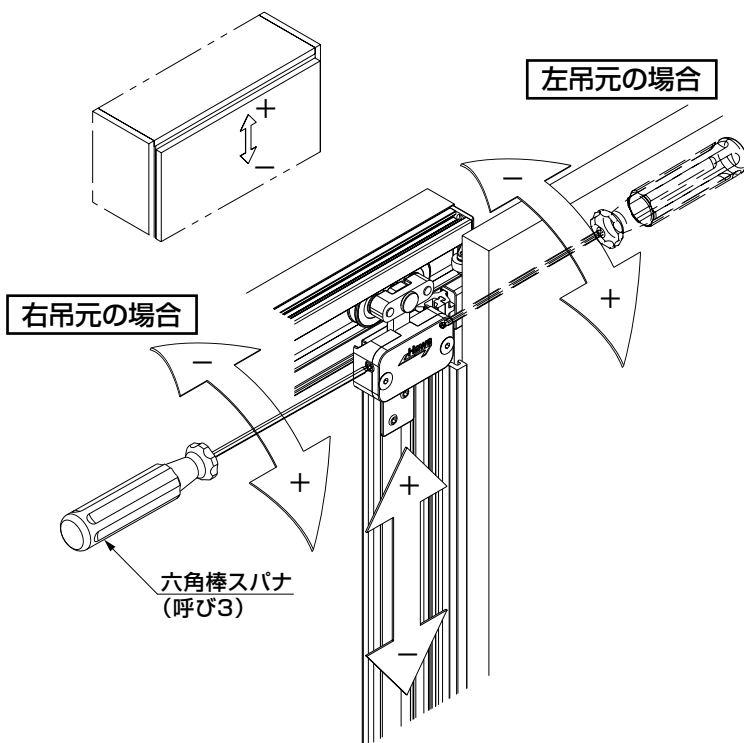
位置が合わない場合、ストッパーの位置を手前2mmまで変更できます。

〈1〉ストッパーをゆるめ、位置をずらし、再度固定します。

〈2〉キャッチ力を調節します。

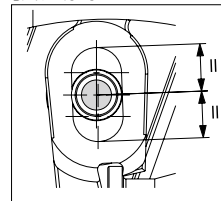


3 上下の調整

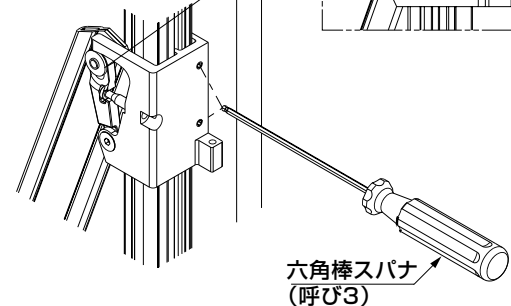
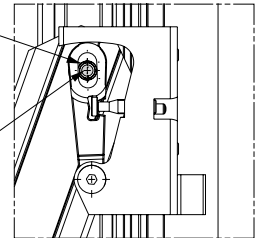


4 調整部分を拡大図の位置にして、連動バー①にクロスアーム④前上部を固定します。

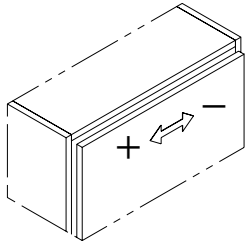
拡大図



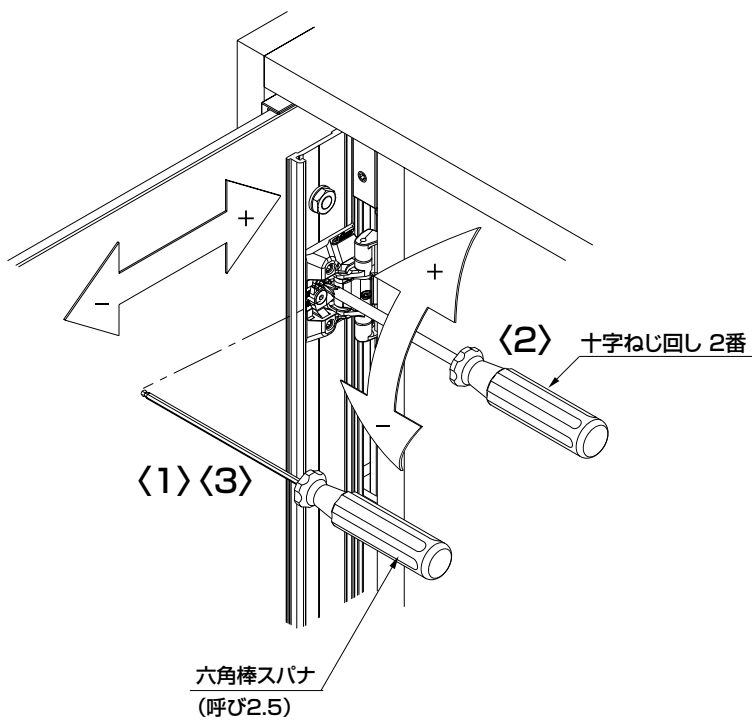
拡大図



5 左右の調整

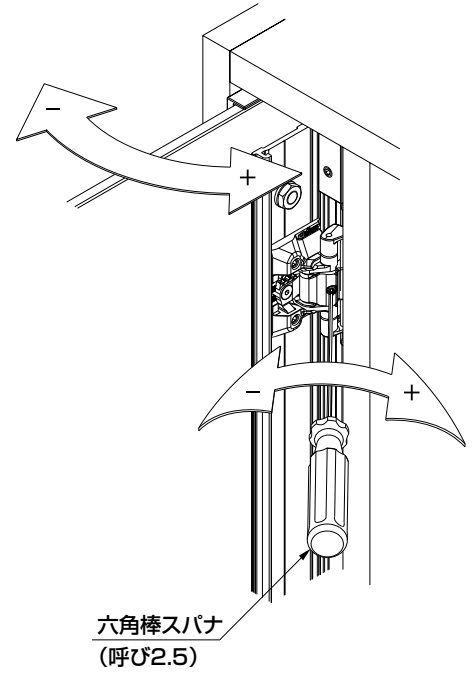


- 〈1〉ヒンジ⑥カップ内のねじを一旦緩めます。
- 〈2〉歯を動かし、出入りを調整します。
- 〈3〉決まったところで、ヒンジ⑥カップ内のねじを締めます。



6 開き角度の調整

ヒンジ⑥を5個とも、同じ調子に合わせます。
ガラス扉がストッパー脇のローラーに扉が軽く当たるくらいにするのが目安です。
周囲と大きく干渉しないように調整します。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**
受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875
E-mail : support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032



ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>